

「ここにも税あり」(2) たばこ税金

激しい山仕事のひと休み、今残り倒したばかりの切株に腰をおろしてキセルにつめて一服二服、大きくふかすたばこのうまさ。一日の疲れを忘れて一家団らん、夕げのひととき、家族との語り合いを温かくほのかに包む紫のけむり……たばこがかもす一幅の絵画です。

さて、たばこを吸うという嗜好を一体誰が始めてやつたのだらうと、いろいろ調べてみました。なかなか確実な資料がありません。やつと見つけた下田将美著「煙草礼讃」の中に、「アメリカの土人共の間に煙草は神が人間に与えた最も聖なる植物と見なされておつたのである。無智の土人共は此の聖なる草を野から摘み、干して乾かして細かに粉末にしたものをやうやうらしく祭壇の前に焚いて、ゆら／＼と立昇る紫の煙の中に、神の喜び給う声を聞いておつたのであつた。……(中略)つまり煙草は敬神を表現する尊き香料に他ならなかつたものである。」とあります。とにかく喫煙というものは文明人の発明ではなく野蠻人の創始にかなり、宗教上の儀式から漸次に嗜好品として転化して来たものようです。

聖なる植物と見なされておつたのである。無智の土人共は此の聖なる草を野から摘み、干して乾かして細かに粉末にしたものをやうやうらしく祭壇の前に焚いて、ゆら／＼と立昇る紫の煙の中に、神の喜び給う声を聞いておつたのであつた。……(中略)つまり煙草は敬神を表現する尊き香料に他ならなかつたものである。」とあります。とにかく喫煙というものは文明人の発明ではなく野蠻人の創始にかなり、宗教上の儀式から漸次に嗜好品として転化して来たものようです。



相談室
たばこ

▲問 私は今現在名古屋市中に在籍して居りますが、今回の引揚者給付金請求書に添附する戸籍謄本が必要となつて参りました。本人が熊本市役所に提出して

投書は役場内「こたま係」

【答】戸籍謄抄本の下附請求には市区町村役場の窓口に出頭して作成を依頼する場合は、文書で請求する場合は二通りが認められて居ります。従つて遠隔地に本籍を有しているときは文書で請求すればよい訳でありますが、此の場合手数料を

税金は必ず……期限内に納めましょう

ペイン人で十八世紀の終り頃からであり、紙巻たばこの歴史はもつと新しく、一八五四年から一八五六年にかけてのクリミア戦争の頃に始まつています。

たばこに税金が始めてかけられたのは一八一一年でナポレオン皇帝がたばこの政府専売令を発布して税金を徴収したのに始まつていようです。

余談はさておき、たばこ消費税が道府県及び市町村の独立財源として創設されたのは昭和二十九年で、その後税率の改正はありましたが、本村では電気ガス税と並び、安定した有力な財源となつております。

たばこの販売価格の中に

切手代用(ても可)することと、本籍地番を明記すること、に注意しなければなりません。

尚区のある六大都市に在籍の場合は市役所でなく必ず区役所宛請求して下さい。又住所と本籍が違つているために右の様な不便が応々に有り勝ちです。今後差支ない限り転籍届によつて住所地に転籍させることが

昭和三年度当初予算額	三六、四六千円
昭和三年度決算額	七六千円
昭和三年度当初予算額	八七千円
昭和三年度決算額	八〇千円

昭和三年度当初予算額は、たばこ消費税のほかに国家予算に繰入れられるべき専売納付金等が含まれております。ちなみにたばこ消費税等を調べてみますと、専売納付金の予算額が、

昭和三年度 二二、五〇〇千円
昭和三年度 二二、四七五千円
昭和三年度 二六、〇五五千円

となつており、岐阜県たばこ消費税が、

昭和三年度実績 一、七三三千円
昭和三年度予算額 二、五〇四千円

昭和三年度当初予算額は、たばこ消費税は、

昭和三年度決算額は、

昭和三年度当初予算額は、

昭和三年度決算額は、

第二期分納付率ベスト7

昭和三十一年度	四 西河	九七、九〇
固定資産税第二期	五 中通	九七、四七
分の納付状況が	六 大沢	九四、七七
の程まとまつたが	七 神付	九一、〇九
それによると期限		
内納付成績の優秀		
な部落七位までは		
次の通り。		

固定資産税

順位組名 納付率滞納者数

一 大口 一〇〇% 〇人

二 栃山 一〇〇% 〇人

三 黒淵 一〇〇% 〇人

四 久須見 一〇〇% 〇人

五 日向 九八、九四

納税優を表彰

村では去る七月二十日、村内各区の区長組長会議を役場会議室で開き、席上、村長から大口組など納税に優秀な成績をおさめた左記

税のカレンダー

八月は取りあえず月末に一括預金するが、九月からは各班毎に集金して農協外勤の七日に預入れをする張り切つている。

△事業税 第一期分の納期は月末まで。異議があつたら徴税令書が交付された日から三十日以内に申立をして下さい。

村税

△村県民税 第二期分の納付は月末まで。前もつて納税預金の残高を調べておきましょう。

戸籍手数料に改正

戸籍手数料令の改正によつて、八月一日から戸籍謄抄本等の手数料が値上げとなつた。謄抄本は一葉につき三十円が四十円に戸籍証明及び戸籍簿の閲覧は一件について四十円となつた。

夏やせ、夏まけには栄養と睡眠が大切

農事教室

稲作管理

天気概況と

○天候予想

(八月) 七月に引き続き本邦は大平洋高気圧におおわれ、むし暑い晴天の日が多いが、下旬には前線又は台風が現われて夏型の気圧配置はくずれて、曇雨天の日が割合に多くなり暑さはやわらぐ、気温は上、中旬は高いが下旬は低くなる見込み、降水量は上、中旬は晴て一時的な荒天が予想されます。

多い見込みです。月全体としては平年より少ない見込み。(九月) 大陸からの移動性高気圧は日本海に現われやすく本州の南岸には前線が低滞しやすくなり中旬を中心に秋りん現象が活発となりましょう。亦本州に接近し上陸する台風が現われ



新鮮な空気を求めて

岐阜高校がキャンプ

真夏の涼を求めて海に山に... 都会人の行楽シーズンであるが、本村へも去る七月二十八日より三日間岐阜高校の女子生徒たち名が来村し、神土後山の舞台屋敷跡でキャンプを行った。キャンプ設営中は、夜は地元の青年団員と盆踊り練習に参加したり、また婦人会がキャンプ地を慰問するなど、なごやかな風景が展開された。なお岐阜高校では、昨年夏も新築でキャンプ生活を送っており、本村の山の冷気と朝夕の新鮮な空気が殊のほか満足のようにあつた

岐阜測候所調べ

時期	気温 (C)	降水量 (mm)	日照 (H)
八月 平年	26.3	180.7	229.5
本年	や高め	や少	多
九月 平年	22.4	259.4	164.8
本年	や低	多	少

気温は上中旬は低いが下旬は平年並の見込です。降水量は平年より多く台風による一時的な豪雨が予想されます。(岐阜測候所)

○稲作管理 前述の天気概要予想によると八月下旬より九月にかけて気温が低目と降雨量が多い模様と先の暗い予想がたてられていますので、今後出穂から穂実までの稲作管理には特に気を付けて下さい。

○施肥 追肥と穂肥につきましては、特に窒素過多にならない様留意して下さい。尚毎年秋落の甚しい田に於ては、稲の出来栄え、葉色、天候等を勘案して、出穂二〇日前位に反当り窒素二〇〇〜三〇〇(刈加三〇〇)刈位を露のない時期に葉にかからぬ様平均に施す様にして下さい。穂肥は時期を誤るといもち等の誘因となりますから注意下さい。

この外落水はできるだけおそくして下さい。本年度は産米の予約売渡申込数量が六七石と過去二ケ年の最高を示しているので、病害等により売渡しが出来ないと言ふような農家のない様に、稲の健全化と病害虫防除に万全を期して、揃つて予約申込数量の売渡を完遂し更に以上の売渡しが出来るように豊かな稔りに導きたいものです

穂首イモチの防除

ことしの稲作管理もいよ〜最終段階の時期を迎え、当初の天候不順に災いされていた稲も、八月に入つての照込みなどで、その草出来もどうやら平年作以上と云う、嬉しい予想であるが、今出穂期から成熟期に至る間の、病害虫、気象状況如何によつては葉病は禁物。これからの一ケ月間が豊凶いづれかを決める最も大切な時期ですので天災は別として、人的に防ぎ得る病害虫防除... 穂首イモチの防除と、害虫の撲滅をはかり、今年も是非豊作にしたいものです。

穂首イモチの防除 穂首イモチは発生後でも防除できるが、穂首イモチは徴候の見えた頃では、すでに時期遅れで、何んとして事前にも予防処置を講じて下さい。即ちセレン石灰の適期撒布による防除が大切です。

二化メイ虫の防除

一回 ③葉イモチの出た田、窒素過多、出穂の八月末から九月上旬におよぶ田は特に危険性が高いから乳熟期〜糊熟期に一〜二回やる

②撒布量 ①動力ミスト機の場合は五百倍液にて反当り一斗以上撒布 ②背負式噴霧機の場合、一千倍液にて反当り五斗撒布 (E.P.N)は、人畜を始め、蚕兒に毒性が強いので、特に注意し、防除部長さんの指導をうけること)

農委会会長に 河田村長就任

東白川村農委委員会は去る七月二十九日選挙後第一回の総会を役場会議室に於て開催した。当日は二十一名の全委員が顔を揃え、会長の互選外四議案を審議決定し正午閉会した。当日決定した新しい人事の顔ぶれは次のとおり。

会長 河田勘市 会長職務代理者 安江専一 県農業会議所一号会議員 河田勘市

飛驒産仔牛 12頭お興入り

飛驒牛一二頭が本村にお興入した。東白川農協では、去る七月十八日高山の仔牛せり市場で、飛驒産の牝牛二頭、牝牛一〇頭を買入れ、村内農家に配分した。このせり市における、仔牛の最高価格は八〇、一〇〇円もしたが本村へ入つた牝牛の最高は四一、五〇〇円で、牝牛は平均二五、〇〇〇円となっている。

『東白川の将来』応募文(その3)

「憂き事の、なおこの上に
 積れかし、限りある身の力
 ためさんしの古歌の如く、
 三十年間を柿の接木から栗
 の接木へと黙々と研究を続
 けられた山県郡高富町大桑
 の土田さんこそ、私たち農
 山村の百姓の学ぶべき人だ
 である。」

彼の家庭は破産して、そ
 の拳句おやじとおふくろは
 村を離れた。結局祖父母と
 三人暮らしにされ、どうにも
 動きのとれない貧乏人に落
 ちぶれてしまった。彼は毎
 日のように肥種をかついで
 汗した。十二才の時である
 一ヶ月にたつた三日しか
 学校へ行けなかつたので、

「この月の月謝はいらんか
 ら返してやるぞ」と先生か
 ら云われたこともあつた。
 「おら、つく／＼世の中が
 いやになつてた。それに
 野良仕事の合間をみては切
 つた薪を四里もある岐阜の
 町まで、一人で引ばつて行
 つたものだ……思ひだせば
 苦しい年月であつた」と述
 懐している。しかし、こう
 した苦しみが、知らず知ら
 ずのうちに、どんなことに
 もへこたれないねばり強さ
 が養われたのである。

「この村を盛んにするには
 山すその畑を利用すること
 だ。やせた土地には、それ
 にふさわしい仕事を見つけ
 ることだ」彼が十六才の時
 である。「どうだ一つ柿の
 接木を教えてやろう」と祖
 父の云つた言葉が、彼の将
 来を約束する機会になつた
 彼は接木に熱情をこめる
 には、余りにも若かつたの
 であるが、しかし、いつた
 い「こう励まされて彼の気
 持で大きい活躍して下さ
 り」

と、固い信念をひつさげて
 昨日は東、今日は西と飛び
 まわつて新品種の接種を求
 め歩いた。
 こうした彼の努力がよう
 やく世間から認められるよ
 うになつたある日、県の山
 林技師を迎えたが、この人
 から「量見のせまいことで
 あつてはだめです。土田さ
 ん。こんな小つぼけな栗林
 で満足しておつては困りま
 す。本県の栗林を経営する
 気持で大いに活躍して下さ
 り」

まつたりした。このように
 苦心に苦心を重ねた失敗は
 やがて成功への道に連らな
 つていつた。甘栗の新品種
 と新聞に報道され、遂に彼
 の功績が認められる時がや
 つて来た。この三つの品種
 はそれ／＼早生、中生、晩
 生で、遠い土地からもこれ
 を求めて来るようになった
 自然の力は抗しきれぬも
 のでない反面また偉大な発
 見の力を与えてくれるが、
 それは昭和十五年の秋であ
 つた。栗林を見廻つていた
 彼は、ふと足許に落ちてい
 る大粒の栗を見つけた「こ
 れは珍らしい、よし、こい
 つを岐阜一号に接木したら
 大したもになるぞ」……
 またも新品種の出現を目前
 にみた彼の喜びと自信と希
 望は云いしれないものがあ
 つた。それから七年間、思
 えば長い年月であつたが遂
 にその結果は見事に成功し
 た。これが「利平栗」であ
 る。この長い年月には栗の
 持つあらゆる特性が研究さ
 れ、やせた土地でも立派な
 栗が実り、大敵である栗玉
 蜂さえ、利平栗にはかなわ
 なかつた。

ある。栗と共に生きて三十
 年、土田さんは感慨新たに
 今もお栗の研究に余念が
 ないのである。
 私たちも、このように例
 え彼の何分の一かの力にも
 およばないまでも、みんな
 が何か一つづつでも、物事
 を工夫し、研究を続けよう
 とする努力を結集してこそ
 この村の将来の発展が約束
 されること、信じていま
 終り

先覚者の苦 しみに学べ

神土西洞
今井世津子
(16才)

決心したことは、どこま
 でもやり遂げてみようとし
 るのを体内に感じ、県下
 の彼の性格がだまっていな
 かつた。こうして、柿の接
 きの研究が続けられた。何
 本も何本も接木する経験は
 決して無駄ではなかつた。
 しかし、たゞやればよいと
 云うものではない。接木に
 は接木の進歩がなくてはな
 らない。明けても暮れても
 彼の頭の中は、そのことだ
 いかなかつた。時には種子
 がくさつてしまつたり、折
 る芽の出したものが枯れてし

持は動いた。熱情のほとば
 しのを体内に感じ、県下
 の栗林を改良すると云う大
 きな抱負のもとに、栗の研
 究にます／＼身が入つて来
 た。時昭和九年春のことだ
 ある。当時岐阜に「天津甘
 栗」がはいつてきた。早速
 山すそに直播してみた。ま
 た朝鮮からとり寄せた接種
 を接いでみたりしたが、結
 果はなか／＼思うようには
 なかつた。

こうして登録「利平栗」
 は六年にして、今や全国第
 二位の栽培量となつたので

へき地教育の振興を 関係方面へ強く要請

去る七月二十三日神土小
 学校に、加茂郡東部の八百
 津、七宗、白川、東白川の
 四ヶ町村の教育関係者たち
 が集つて、加茂郡へき地教
 育振興大会を開催した。

この日、県教委より小林
 総務課長、安宅地方係長、
 長谷川県議を始め、各町村
 代表者約五〇名が参加して
 「へき地における教育振興
 の具体的方策」について、
 種々活潑な意見が交された
 が、この大会において特に
 一、養護教諭の全校に配置
 二、社会教育主事の設置に
 対する国及び県の補助
 と身分保障
 三、へき地々々の範囲の拡
 大。へき地手当の増額
 などの問題を全会一致で決
 議し、今后これらの実現方
 策を強く関係方面へ働きかけ
 ることになった。



★近畿図書目録★
 書名 著者名
 昭和怪物伝 大宅壮一
 日本人の顔 山崎 浩
 官條につぼん 毎日新聞
 生の欲望 森田正馬
 死と栄光 東郷遺書
 したいさんまい小西得郎
 日本しんぶん 今立鉄雄
 曆と迷信 鈴木敬信
 植物学90年 牧野富太郎
 酔うて候 西崎 緑
 旅人言葉 市河三喜
 気遣い部落の青春 きだみのる
 塚原ト伝(続) 中山義秀
 大番(雲の巻) 獅子文六
 徳川家康(10) 山岡荘八
 新百科辞典 三省堂
 大言海(全五巻) 富山房
 匪賊と共に 三上慶子
 会議のすゝめ方 日本産業訓練協会
 悪女の手記 石川達三
 せみと蓮の花 坪田護治
 新平家物語(24) 吉川英治
 挽歌 原田康子
 南極観測航海記熊沢武晴
 茨は長し 福原麟太郎
 関児指導の実際 神戸教育研究所
 美德のよるめき 三島由紀夫
 鴈外の子供たち 森 類